

# 財産の交換について

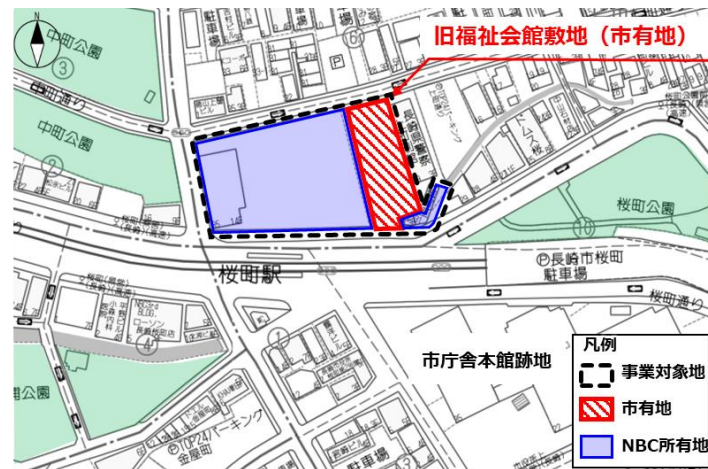
## 1 背景

令和4年6月まで上町に所在していた旧長崎市社会福祉会館は、老朽化、耐震化・バリアフリー非対応、面積不足など様々な問題を抱え、長年、建替えを検討していた。

このような中、長崎放送株式会社（NBC）から本社跡地活用事業で整備する複合施設内に新たな社会福祉会館を設ける提案をいただき、令和3年度から協議を進めてきた。

## 2 交換の概要

長崎市社会福祉会館機能を更新するため、**市有地である旧社会福祉会館の敷地（約900㎡）**と、NBC本社跡地活用事業において整備する**複合施設の一部（事務所床約1,000㎡）**を交換差金なく等価で交換するもの。



## 3 交換相手の方

NBCが事業契約を締結した次の3者

- ①三菱地所レジデンス株式会社
- ②九電不動産株式会社
- ③日鉄興和不動産株式会社

# 財産の交換について

## 4 複合施設の概要

鉄筋コンクリート造地下1階地上20階建  
(建築基準法上は地下2階地上19階建)

- 5～20階 住宅（分譲マンション住戸）
- **4階** **長崎市社会福社会館、事務所**
- 3階 店舗・サービス施設等
- 2階 店舗、店舗エントランス等
- 1階 店舗用駐車場、住宅エントランス等
- 地下1階 店舗用駐車場

## 5 経過及びスケジュール

時 期	内 容
令和3年度	協議開始、基本協定、市有地無償貸付議決等
令和4年度	地域説明、会館仮移転、解体工事
令和5年度	地域説明、解体工事、施設設計等
令和6年度	地域説明、解体工事、建築確認等
令和7年2月	複合施設着工
令和10年夏頃	複合施設竣工
令和10年秋頃	引渡し・財産交換の履行
令和10年冬頃	新社会福社会館オープン

※R7.2以降は現時点での予定

# 長崎市附属機関に関する条例の一部を改正する条例

## 1 概要

令和6年12月1日から「第二種健康診断特例区域治療支援事業」が創設されることに伴い、第二種健康診断特例区域医療受給者証の交付に関する必要な事項の審査を行うため、新たな附属機関を設置する。

### 第二種健康診断特例区域治療支援事業（概要）

第二種健康診断受診者証を所持している方のうち、11の障害を伴う病気にかかっている者を対象として、幅広い一般的な疾病について**被爆者と同等の医療費助成**を行い、その症状の改善、寛解及び治癒を図るもの。

## 2 主な改正内容

「第二種健康診断特例区域医療受給者証審査会」の設置

## 3 施行期日

令和6年12月1日

## 4 参考 (申請からの流れ)



# 令和6年11月補正予算

## 長崎被爆体験者支援費

# 481万9千円

令和6年12月1日から、第二種健康診断受診者証を所持している方のうち、11の障害を伴う病気にかかっている者を対象として、幅広い一般的な疾病について**被爆者と同等の医療費助成**を行い、その症状の改善、寛解及び治癒を図る、新たな医療費助成事業を行います。

(R6当初予算：851,095千円 ① 補正額：4,819千円 ② R6見込み額：855,914千円 ①+②)



### 主な事業費

- 審査会の開催経費（委員報酬）
- 医療費扶助費 など



### 医療費助成の範囲

以下を除き、全ての医療費が助成の対象

- ・ 遺伝性の病気
- ・ 先天性の病気
- ・ 原爆以前にかかった精神病
- ・ 軽いむし歯



### 医療の給付

令和6年12月1日から  
(令和7年3月31日までに申請した方は  
遡及適用あり)



### 対象者

全国：約6,300人を上回る見込み  
長崎市(受診者証所持者)：約3,900人



# 令和6年11月補正予算

## 第11回平和首長会議総会開催費負担金 3,500万円

平和首長会議加盟都市間の連携強化及び、被爆地から世界に向けて核兵器廃絶と恒久平和への機運醸成を図るため、原則4年に1度、長崎市と広島市で交互に開催している総会を被爆80周年にあたる令和7年8月に長崎市で開催します。

 **事業主体**  
(負担金交付先)

平和首長会議総会運営委員会（事務局：長崎市）

 **事業内容**

- ◆ 会議名称 第11回平和首長会議被爆80周年記念総会
- ◆ 会 期 令和7年8月7日(木)～10日(日)
- ◆ 会 場 出島メッセ長崎ほか
- ◆ テ ー マ 核兵器のない世界を目指して ～地球市民として描く平和な未来～
- ◆ プログラム 基調講演、被爆体験証言ほか



 **開催実績**

	開催年	開催地	参加登録者数
第8回	2013	広島	301人
第9回	2017	長崎	318人
第10回	2022	広島	259人（縮小開催）

※第9回の延参加者数は2,390人（登録外の参加者含む）



### 平和首長会議とは

国境を越えた加盟都市相互の緊密な連帯を通じて核兵器廃絶と世界恒久平和に寄与する目的で1982年に設立され、**世界166か国・地域、8,429都市**（令和6年11月1日現在）が加盟している。（会長：広島市長 副会長：長崎市長ほか）

現在、「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン（PXビジョン）」のもと、「核兵器のない世界の実現」、「安全で活力のある都市の実現」、「平和文化の振興」の三つを柱に、様々な取り組みを推進しています。

# 令和6年11月補正予算

(債務負担行為)

1,000万円

## 被爆80周年記念事業費補助

被爆80周年に向けて、多くの市民の平和の意識の醸成を図るため、市民等が実施する平和の発信や被爆実相の継承のイベント等を被爆80周年記念事業として10件程度選定し、補助を行います。

### 補助対象事業

- 1 被爆80周年を記念し、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの間に実施すること
- 2 市内で開催すること
- 3 広く市民が参加できること、または広く市民に周知・活用されること

### 補助対象者

市民または市内に主たる活動拠点がある個人もしくは団体

### 補助率

補助対象経費の3/4 (上限額 100万円)

### スケジュール

日程	内容
R6.6月～8月	補助事業の募集 (28件応募あり)
R6.11月	選定審査会における補助事業の選定
R6.12月 (議決後)	補助事業の決定・発表
R7.4月～ R8.3月	補助事業の実施

